

『地域包括ケアを学ぶ』ケアマネジメント 研修会

患者と語り合うがんの悩み ～がん哲学外来の必要性～

誰しもがんにはなりたくはありませんが、がんになったことが自分の人生を考えるきっかけになったととらえることはできないか

「がんの解決はできないが、悩みは解決できる」と考え、余命少ない末期がん患者の悩みを聴き、語り合う場として、2008年1月に『がん哲学外来』を開設しました。

対話を通じて、がん患者さんを支援する **がん哲学外来**とは・・・

「がん哲学外来」をはじめられた**順天堂大学医学部教授の樋野興夫先生**をお招きして、ご講演をお願いします。

記

日時 平成27年2月13日(金) 19:00～20:30

会場 鎌倉市福祉センター 第1・2会議室

演題 患者と語り合うがんの悩み がん哲学外来の必要性

講師 **樋野興夫氏** 順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座教授
一般社団法人がん哲学外来 理事長

〈講師紹介〉 1954年皇城県生まれ。癌研究会癌研究所病理部、米国アインシュタイン医科大学、米国フォックスチェスがんセンター、癌研究会癌研究所実験病理学部長を経て、現職。不安を抱えた患者さんに対話を通じて支援したいという思いでの講演活動は大きな反響を呼び、全国に『がん哲学外来』『メディカル・カフェ』が開設されている。

申し込み方法 裏面申込書に記入の上、**1月30日まで**にお申し込み下さい

主催 特定非営利活動法人 かまくら地域介護支援機構

協力 ターミナルケアを考える会 in 鎌倉
かまくら食支援研究会
医療と福祉のネットワーク会議

事務局 〒247-0061
鎌倉市台2-8-1 台在宅福祉センター内
☎ 0467-46-0788 FAX0467-46-0059
e-mail:jimu@kamashien.com

第19回 乳がん市民公開講座

日時 2015年2月15日(日) 午後1時～4時

場所 アクティシティ浜松 コンgressセンター 3階

こころの処方せん

◇ 第1部 基調講演 司会 渡辺 亨 (浜松オンコロジーセンター)

いい覚悟で生きる～がん哲学外来の処方箋～

樋野 興夫 (順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授
一般社団法人 がん哲学外来 理事長)

◇ 第2部 パネルディスカッション
あなたの疑問に答えます

司会 曾我 千春 (株式会社VOL-NEXT)

参加無料 先着250名

パネリスト 宮本 康敬 (浜松オンコロジーセンター)
樋野 興夫 (順天堂大学・一般社団法人 がん哲学外来)
徳永 祐二 (浜松医療センター)
後藤 圭吾 (磐田市立総合病院)
小倉 廣之 (浜松医科大学)
大野 一恵 (浜松医療センター)
神谷 智子 (浜松医療センター)

質問受付 2月10日まで

申込方法 参加申込書に申込事項をご記入の上、郵送あるいはFAXにてお送りください。また、がん情報局ホームページからでも申込み可能です。

申込事項：氏名、住所、年齢、性別、公開講座参加回数、乳がんについての質問
心宛 九：〒430-0929 浜松市中央区三丁目6番13号 NPO法人がん情報局 市民公開講座 事務局

○FAX：053-459-1501
○URL：http://www.gango.org

お申込みいただいた方へは、参加票（はがき）をお送り致します。

主催 NPO法人 がん情報局

アストラゼネカ株式会社/うなぎプロジェクト/エーザイ株式会社/漆原食品加工業同組合/株式会社KNM
株式会社ホクレン/三井物産株式会社/株式会社イシユエ/株式会社セキエー/協和発酵キリン株式会社
クララ・エヌエスライン株式会社/サファイヤ株式会社/人薬製品工業株式会社/第一工業株式会社/東亜製薬工業株式会社
中外製薬株式会社/日本イーライリリー株式会社/日本北薬株式会社/ノバルティスファーマ株式会社
佐藤製薬株式会社/佐藤製薬株式会社/佐藤製薬株式会社/佐藤製薬株式会社/佐藤製薬株式会社

第3回 池袋がん哲学外来・帰宅中カフェ

● がん哲学外来とは・・・がんを知ってから、あなたが抱える「悩み・不安・思い」など自由に「解決できる道」を一緒に探して「医療の壁」を乗り越える活動です。がんを患った人だけでなく、支えられている家族の方々の相談を行います。

開催日 2015年1月23日(金) 18:00～20:00(受付開始17:30～)

定員 25名

講師 樋野 興夫 先生
順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座教授 医学博士
一般社団法人がん哲学外来 理事長

18:00 開 会

18:05 樋野先生のお話

18:20 カフェ

先着 4名 一般社団法人がん哲学外来理事長：樋野興夫先生による「樋野先生の個人面談」(お一人約15分)

19:30 全体会議

● わちあいの時間
● 樋野先生への質問タイム

20:00 閉 会

会場 スヴェンソン池袋サロン
東京都豊島区東池袋1-4-6 高和ビル 7F
TEL.03-5979-6356
FAX.03-5979-6322
平日 10:00～19:00
土日祝 10:00～18:30(火曜定休)

お問い合わせ・ご予約は裏面をご覧ください。

後援：一般社団法人がん哲学外来

市民公開講座

日時 2015年2月11日(水・祝日) 14:00～15:30 [13:30開場]

場所 アイーナ いわて県民情報交流センター 8階 会議室803
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

※お車でのご来場の方は近隣の有料駐車場をご利用下さい。
(誠に恐縮ですが、駐車場は自己負担となります。)

プログラム

開会の挨拶 岩手県立中央病院 加藤 誠之 先生

講演1(14:00～14:30) 座長：盛岡赤十字病院 旭 博史 先生

楽しい時も辛い時も 生きることが「人生」

岩手医科大学 産婦人科学講座 教授 杉山 徹 先生

講演2(14:40～15:30) 座長：岩手県立中央病院 望月 泉 先生

医療維新の時代到来 ～がん哲学外来の普遍性～

順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授 一般社団法人がん哲学外来 理事長 樋野 興夫 先生

本会終了後に「メディカル・カフェ」(事前FAX申込30名様限定)を開催いたします。
詳細については裏面に記載しております。

共催 一般社団法人がん哲学外来/武田薬品工業株式会社
後援 キッツネットワーク岩手/盛岡たけの会の会

—発がんの連盟的首位性—
Genotype, Phenotype, **Dramatype**
「適時診断と的確治療」

初期条件がある範囲にあると、初期の変異が経時的変化とともに分子の相互作用によって、様々に拡大し、将来予測が不可能になる。これは初期のわずかな変異で大きな効果が出ることを意味する。

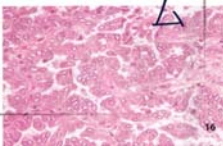
非平衡状態にあり外部と相互作用する開かれた複雑系では、初期状態（Genotype）が同じでも、外部から、意識的に適時に介入すれば、ある特異点（Phenotype）で分岐し多様性のある制御（**Dramatype**）が可能になるはずである。病気は **Dramatype** なる故に、予防、治療が成立する。

がんの基本ABC

がんのできるメカニズム

遺伝子が傷つき、制御不能になった細胞が増殖

がんの一種、中・高度の癌腫

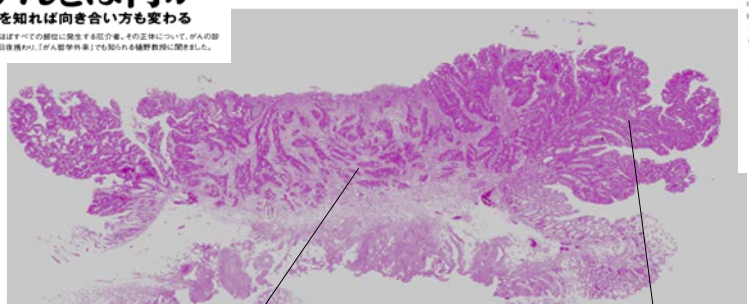


がん細胞とは、
がんとは何か

癌を知れば向き合い方も変わる

病理解からのアドバイス

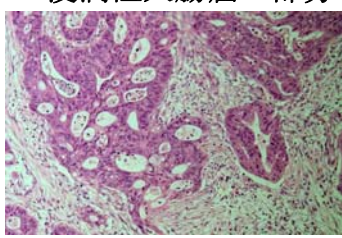
腺腫から発生した大腸癌



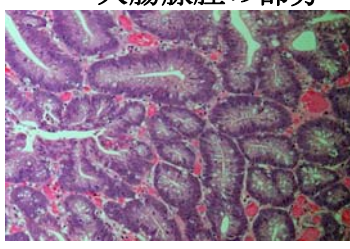
癌細胞の形態

細胞異型
+
構造異型

浸潤性大腸癌の部分



大腸腺腫の部分



●がんの主な部位別 女性の死亡率 (人口10万人) の年次推移



女性、大腸がん 死亡率が1位

女性も男性同様、胃がんの死亡率は減少傾向にある。肺がんや大腸がんの増加は男性と同様だが、女性特有の乳がんが増加傾向にある。若くて若くともなる人のなかでは、40～50代の女性が25%を占める。

It is not automatic
It has a process (発がんの3か条)
It takes time

「禍の起こるのは起こる時に起こるにあらず
由って来るところ遠し」 ゆえに予防、治療が出来る

Normal cell

Single tumor cell

30 doublings

1 gm - 10⁹ cells
Smallest clinically detectable mass

10 doublings

1 kg - 10¹² cells
Maximum mass - compatible with life

Metastases

TRANSFORMATION

PROGRESSION

PROLIFERATION OF GENETICALLY UNSTABLE CELLS

TUMOR CELL VARIANTS HETEROGENEITY

Normal cell

Transformation events

Tumor cell

Tumor cell variants

Clonal expansion of surviving cell variants

Nonantigenic

Invasive

Metastatic

Requiring fewer growth factors

Human solid malignancy

© Elsevier 2005

Newton 2008.6

がんの大きさと細胞数はどのくらい？

がんの大きさ (直径)

100

10

1

0.1

末期がん (1兆個の細胞)

さわってわかる大きさのがん (10億個の細胞)

X線ではよく見えるがん (1億個の細胞)

0

10

20

30

40 (回)

一つの細胞の分裂回数

遺伝子とDNAの在り処

身体

組織

核

細胞

染色体

遺伝子

遺伝子変異とは: 挿入

CATGTCACCTGTACCA

GTACAGTGGACATGGT

G=C

新たにG=Cが挿入、
異なった配列となる

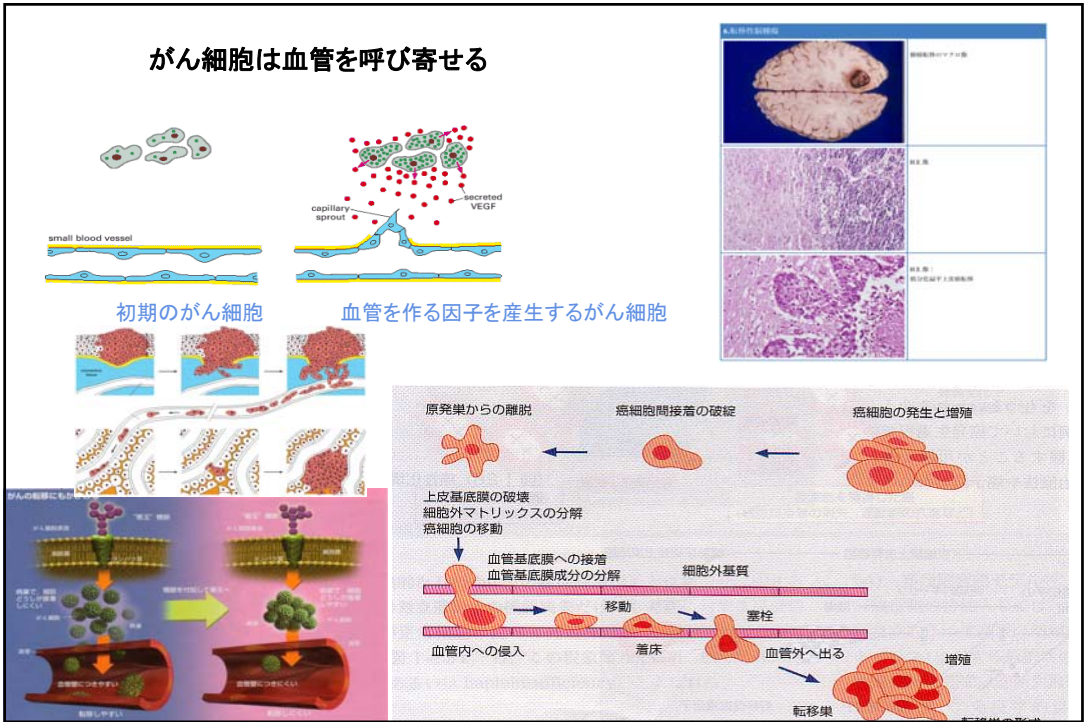
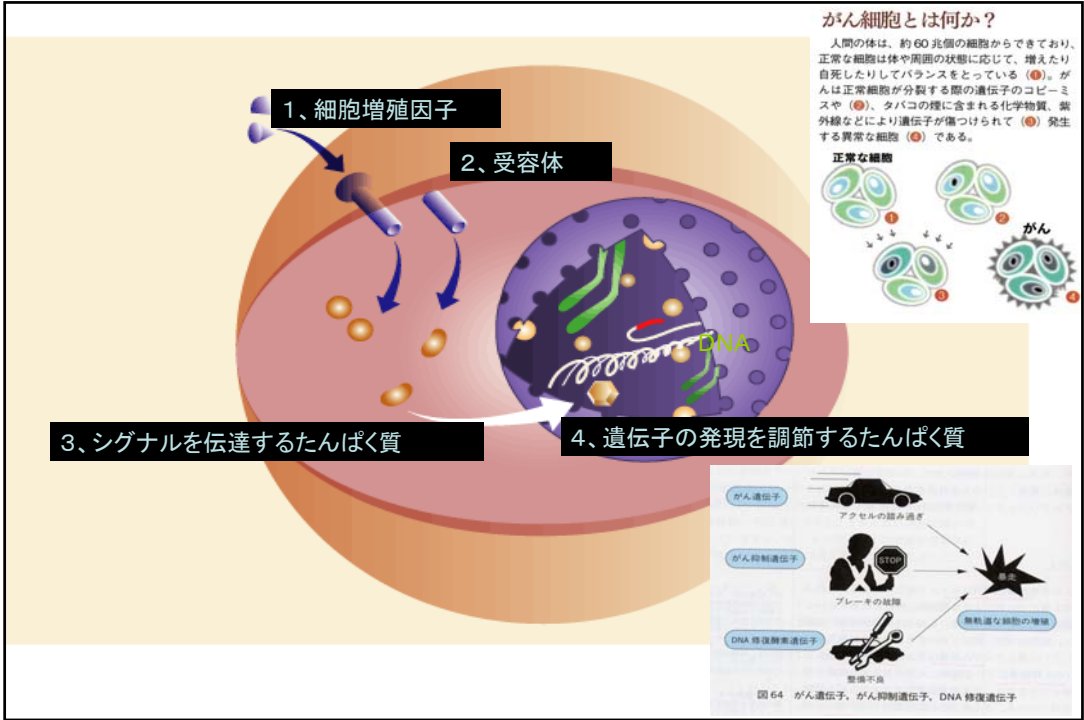
遺伝子変異とは: 欠失

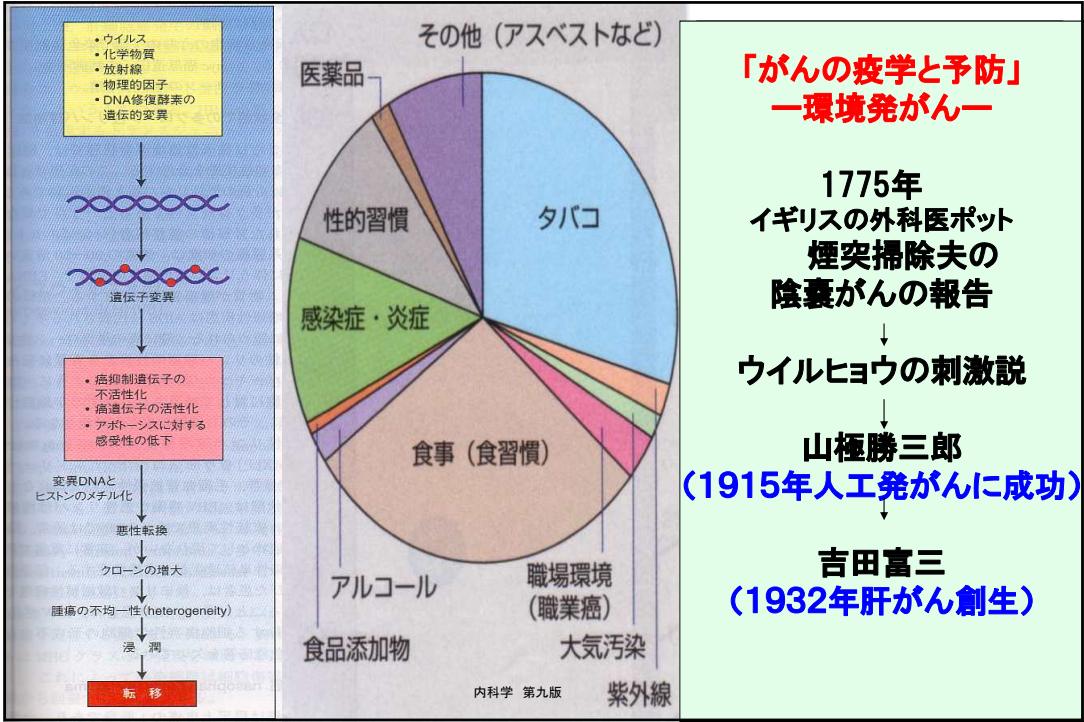
CATCACCTGTACCA

GTA GTGGACATGGT

T=Aが欠失、以降、
配列がずれてれる読みとられる

3







Percivall Pott (1714-1788)

Scrotal cancer in chimney-sweeps
(1775)



Katsusaburo Yamagiwa
(1863-1930)

Ear cancer caused by
coal in rabbit (1915)





TOMIZO YOSHIDA
MEMORIAL HALL

癌に闘った闘病医の故郷家

吉田富三記念館

特別招待券

Environmental carcinogenesis

Formative stimulation of carcinogenesis

(発がんの形成的刺激) by Virchow (1821-1902)

Tomizo Yosida (1903-1973)

Liver cancer caused by
azo dye in rat (1932)

癌境遇説

「独り境遇の感化は、能く癌細胞を養成す」



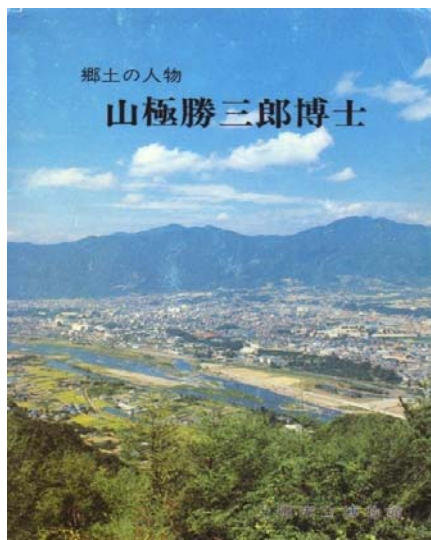
- 山極勝三郎博士
(1863－1930)
- 著書に「胃癌発生論」



「慢性反復性刺激によって細胞と組織は秩序の乱れ、復旧の乱れを起こし、上皮は不規則となり、発育はついに勝手気ままになる」

癌をつくる方法

「境遇の感化」をどう実験的につくっていくか



「類稀な忍耐を持って、
日本の独自性を強く主張し、
日本の存在を大きく世界に示した」

特別企画 山極勝三郎先生 生誕150周年
吉田 富三先生 生誕110周年 記念シンポジウム
～癌研究の歩みを未来に～

日時 2013年6月6日(木) 14:50~16:50

会場 **R1会場** ロイトン札幌3階 ロイトンホールD

司会 樋野 興夫 順天堂大学医学部病理・腫瘍学
深山 正久 東京大学大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学分析

SS-1	確化と初知化	公益財団法人日本へ研究会が、研究員 菅野 晴夫
SS-2	確知研究の壁を振り返る	東京大学大学院医学系研究科 人体健康学、疫学と公衆衛生 深山 正久
SS-3	山高峰は裾野広し	北海道大学1期生会会長 / 札幌医科大学名誉教授 菊地 浩吉
SS-4	発がんの刺激剤、プロモーション	国立癌研究所 癌発生機序研究部 北川 知行
SS-5	がん発覚が、モデルの夢	公益財団法人日本へ研究会が、研究員 白井 智之
SS-6	がん遺伝子研究の展開と展望	名古屋大学大学院医学系研究科、分子生物学 橋野 興夫
SS-7	山極徳三郎と吉田富三の胆管癌研究 - 新時代の胆管癌を求めて -	名古屋大学大学院医学系研究科、腫瘍学 橋野 興夫

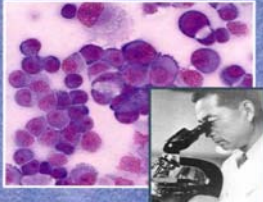
[illegible]

段階ごとに辛抱強く
丁寧に仕上げていく
最後に立派に完成する

日本の科学者 吉田 富三

生誕100年記念

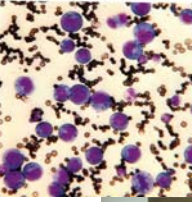
北川 知行・植野 雅夫 編



癌の実験的研究と細胞病理学

—吉田富三医学論文集 (1)—

吉田 富三



「世界に誇る癌病理学者」 吉田富三 生誕100年を記念して

過渡期の指導原理と新時代の形成力を求めて

植野興夫 (癌研究会癌研究所・実験病理部長)

富三を明らふに、**「癌細胞生物学」**という新たな学問を誕生させ、さらに癌化学療法への道を開いた功績は語り知れない。さらに癌研究のみにとまらず、癌細胞の改革や、癌後の免疫調整への提言など、幅広い活動を通り広げた。まさに、「癌哲学者」である。

1903年生まれ。東京帝国大学医学部卒業後、癌理学を専攻。癌々本研究所、長崎大学、東北大学、東京大学、癌研究会癌研究所を歴任し、1973年退任。癌々一等旭日大勲章受章。

吉田富三の生涯は、『私伝吉田富三・癌細胞はこう語った』(吉田富三著・文藝春秋刊)に詳しい。

**現代教育としての専門性と
その癌野としての教育**

富三、卒後は、「癌性化現象」と題した90分の学生講演の中で、吉田富三生涯100年に触れることになっている。吉田富三の「癌野」は、その後の癌研究の発展に大きく貢献した。



●吉田富三 (写真・吉田富三氏提供)

1. 自らの癌みを見極めとする

2. 癌の癌みを見極めとする

CANCER SYMPOSIUM

CANCER RESEARCHER TOMIZO YOSHIDA
Pioneer provides inspiration



Tomizo Yoshida timeline

- 1903 Born in Tokyo, Japan
- 1921 Graduated from the University of Tokyo
- 1922-1923 Studied at the University of Tokyo
- 1924-1925 Studied at the University of Tokyo
- 1926-1927 Studied at the University of Tokyo
- 1928-1929 Studied at the University of Tokyo
- 1930-1931 Studied at the University of Tokyo
- 1932-1933 Studied at the University of Tokyo
- 1934-1935 Studied at the University of Tokyo
- 1936-1937 Studied at the University of Tokyo
- 1938-1939 Studied at the University of Tokyo
- 1940-1941 Studied at the University of Tokyo
- 1942-1943 Studied at the University of Tokyo
- 1944-1945 Studied at the University of Tokyo
- 1946-1947 Studied at the University of Tokyo
- 1948-1949 Studied at the University of Tokyo
- 1950-1951 Studied at the University of Tokyo
- 1952-1953 Studied at the University of Tokyo
- 1954-1955 Studied at the University of Tokyo
- 1956-1957 Studied at the University of Tokyo
- 1958-1959 Studied at the University of Tokyo
- 1960-1961 Studied at the University of Tokyo
- 1962-1963 Studied at the University of Tokyo
- 1964-1965 Studied at the University of Tokyo
- 1966-1967 Studied at the University of Tokyo
- 1968-1969 Studied at the University of Tokyo
- 1970-1971 Studied at the University of Tokyo
- 1972-1973 Studied at the University of Tokyo
- 1974-1975 Studied at the University of Tokyo
- 1976-1977 Studied at the University of Tokyo
- 1978-1979 Studied at the University of Tokyo
- 1980-1981 Studied at the University of Tokyo
- 1982-1983 Studied at the University of Tokyo
- 1984-1985 Studied at the University of Tokyo
- 1986-1987 Studied at the University of Tokyo
- 1988-1989 Studied at the University of Tokyo
- 1990-1991 Studied at the University of Tokyo
- 1992-1993 Studied at the University of Tokyo
- 1994-1995 Studied at the University of Tokyo
- 1996-1997 Studied at the University of Tokyo
- 1998-1999 Studied at the University of Tokyo
- 2000-2001 Studied at the University of Tokyo
- 2002-2003 Studied at the University of Tokyo
- 2004-2005 Studied at the University of Tokyo
- 2006-2007 Studied at the University of Tokyo
- 2008-2009 Studied at the University of Tokyo
- 2010-2011 Studied at the University of Tokyo
- 2012-2013 Studied at the University of Tokyo
- 2014-2015 Studied at the University of Tokyo
- 2016-2017 Studied at the University of Tokyo
- 2018-2019 Studied at the University of Tokyo
- 2020-2021 Studied at the University of Tokyo
- 2022-2023 Studied at the University of Tokyo
- 2024-2025 Studied at the University of Tokyo



「がん哲学勉強会」の読書会

「がん哲学」(2004年出版)



がん哲学
がん細胞から人間社会の病理を見る
植野興夫

がん病理学者・植野興夫教授の提唱する話題の「がん哲学」を平易な語り口で紹介。がん細胞に学ぶ現代教養書。

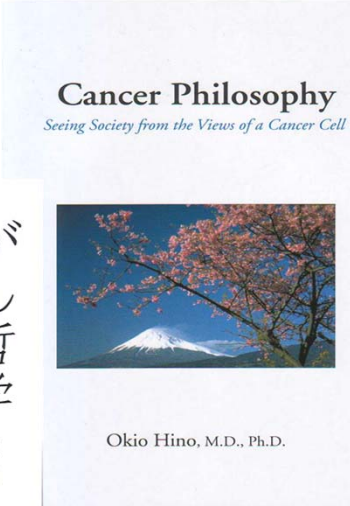
to be 出版 定価 (本体700円＋税)

植野興夫
がんがん大学医学部・癌細胞学教授

立花 隆氏との対話
新訂版



がん哲学は懸け橋とならん



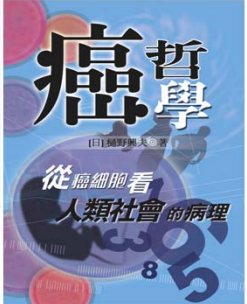
Cancer Philosophy
Seeing Society from the Views of a Cancer Cell



Okio Hino, M.D., Ph.D.



癌哲学
【日】植野興夫 著
从癌细胞看人类社会病理



癌哲学
【日】植野興夫 著
从癌细胞看人类社会病理

がん哲学は懸け橋とならん



Renal carcinogenesis in Eker (Tsc2 mutant) rats

日本経済新聞 2012年(平成24年)12月29日(土曜日)

中皮腫の有無
早期診断キット
がん研究分野の時間等を踏まえた支援活動

中皮腫の有無を早期に診断する。がん研究分野の時間等を踏まえた支援活動。がん研究分野の時間等を踏まえた支援活動。がん研究分野の時間等を踏まえた支援活動。

Rat Lung



IBL 中皮細胞・中皮腫マーカー

製品名	検体	検出限界	検出率	検出率
20011	Anti-Mesothelin	10 pg/mL	95.0%	95.0%
20012	Anti-Podoplanin	10 pg/mL	95.0%	95.0%
20013	Anti-Intelectin-1	10 pg/mL	95.0%	95.0%

IBL 中皮細胞・中皮腫関連試薬

製品名	検体	検出限界	検出率	検出率
20011	Anti-Mesothelin	10 pg/mL	95.0%	95.0%
20012	Anti-Podoplanin	10 pg/mL	95.0%	95.0%
20013	Anti-Intelectin-1	10 pg/mL	95.0%	95.0%

がん研究分野の時間等を踏まえた支援活動

がん研究分野の時間等を踏まえた支援活動。がん研究分野の時間等を踏まえた支援活動。がん研究分野の時間等を踏まえた支援活動。

環境発がん～予防・診断・治療～

2014年(平成26年)10月11日(土曜日)

静かな時限爆弾 今なお

「裁判以外の救済を」

遅れた救済

環境省は、公害健康被害の救済を、裁判以外の救済を、遅れた救済。

論点

中皮腫対策 国家戦略で

診断・治療法の確立急務

中皮腫対策 国家戦略で

診断・治療法の確立急務

研究の推進を！

Guiding principle of carcinogenesis

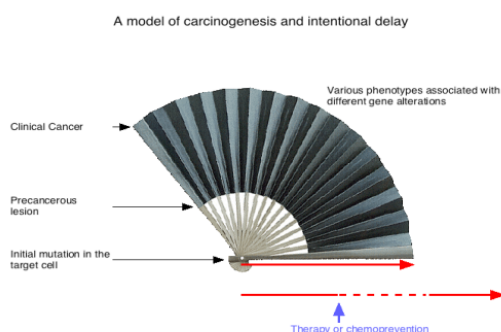
- Cell type specific carcinogenesis
- Stage specific carcinogenesis
- Strain difference in carcinogenesis
- Federal headship carcinogenesis
- Rehabilitation of cancer cell

がん学の新時代の形成力を求めて

(20世紀はがんを作る時代であった。日本は化学発がんの創始国である。21世紀はがんを遅らせる研究で、再び世界をリードする時代である)

「がんの原因論」を明確し、「がんの制御」の根拠を示し、「がんの進展阻止」の実際を示す

**Intentional Delay
(天寿がん実現)**



がんの良性化 (吉田富三)

がん細胞のリハビリテーション (Knudson)

- 癌も身の内=癌の個性
- 細胞(使命を自覚して任務を確実に果たす)の社会学(「自己制御と犠牲」の上に成り立つ) vs 癌
- 真の目標を見失った細胞集団=癌細胞=エゴイスト集団

がん(人生)は開いた扇の様である

「禍の起こるのは起こる時に起こるにあらず由って来るところ遠し」 ゆえに予防、治療が出来る

臨床がん

初期病変

がん化の引き金

起始遺伝子変異同定

起始遺伝子は扇の要である。
がん化の起始細胞の進展には境遇が大切である。

われ Origin of fire たらん

がん 哲学 余話

樋野 雅夫

広々とした
がん病理学

鵜峠+鷺浦
= 鵜鷺(うさぎ)

鷺浦

鵜峠





11

[illegible]

Eavesdropping on Mentor's Conversations
先人の会話の立ち聞き
 一生きる機軸を求めて—
 札幌農学校2期生の心境(クラーク→1期生→2期生)

「温故創新」

『大いなる人物は、収穫物というものは、存命中に実を結んだ物だけではない。故に後世に生まれた我々がこれを「温故」し「創新」することによって、現代に貢献できる』

「勇ましき高尚なる生涯」

所詮、我々には、「座布団一枚の墓場しか残らない」



新渡戸稲
 内村鑑三
 山田久
 山田久

第 674 回
千葉県がんセンター研究局集談会



演題:「がん哲学&がん哲学外来」
—時代は何を求めているか—
Cancer Philosophy and Cancer Philosophy Clinic

演者: 樋野 興夫 博士
(順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座 教授)

日時: 平成 21 年 6 月 23 日(火)
午後 6 時～午後 7 時 30 分

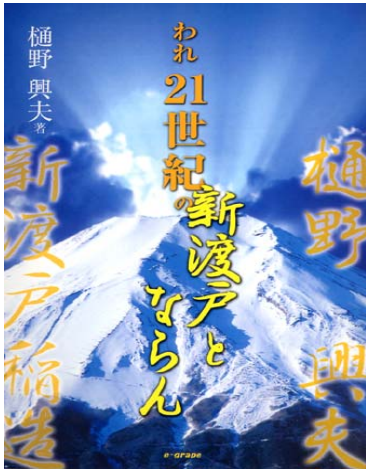
場所: 千葉県がんセンター 西 1 階 TV 会議室

要旨:
1. がん哲学
「がん哲学」とは若き日から学び続けている南原繁(戦後初代の東大総長)(1889-1974)の「政治哲学」と吉田富三(元癌研所長・東大教授・佐々木研究所長)(1903-1973)の「がん学」をドッキングさせたものである。
「がん哲学＝生物学の法則＋人間の法則」である。
2. 『がん哲学外来』
『がん哲学外来』は、生きることの根源的な意味を考えようとする患者と、がん細胞の発生と成長に哲学的な意味を見出そうとする「陣営の外」に出る病理学者の出会いの場でもある。
多数の御来聴、御討論をお願いいたします。 世話人: 中川原

社会をよく見て、「がん」から学んだものを生かす＝社会性(ソシアリテイ)(新渡戸稲造の精神)



樋野興夫
われ21世紀新渡戸と
新渡戸稲造



出版(2003年)10周年記念
I want to become “Nitobe” of the 21 century
British Columbia大学(UBC)





新渡戸稲造没80周年 Royal Jubilee 病院





新渡戸稲造『武士道』出版115周年記念シンポジウム



講演
**新渡戸稲造と
がん哲学外来**
～純度の高い専門性と社会的包容力～

司会 柳野 興夫
一般社団法人がん哲学外来推進委員会 代表理事

人間は、お節介りをやっていた生物である。でも「余計なお節介り」は嫌である。「余計なお節介り」と「偉大なお節介り」の微妙な違いと、その境界の考察がこれからの大きな課題となる。人間は、自分で「希望のない状況」であると思っただとしても、「人生の方からは期待されている存在」であると思えるような力が与えられている。その時、その人らしいものが発動してきているであろう。「自分の置かれた知能なる環境」にかかわらず、「誰をいかにばって、人を愛める」とその大切さと、「人生のversion upの装置」の必要性である。

2015年4月19日(日) 開13:30～ 閉16:00
会場：札幌グランドホテル 本館3階 紅葉 定員：100名 入場料：1,000円
主催：新渡戸稲造記念 さっぽろがん哲学外来 / スウェンソン札幌サロン がん哲学外来メディカル・カフェ
後援：一般社団法人がん哲学外来 協賛：公益財団法人札幌市

お問い合わせ・ご予約は裏面をご覧ください。

「がん哲学」とは

柳 野 興 夫

「がん哲学」とは、戦後初代東大総長の南原繁の政治哲学と、元経済所長で東大教授であった吉田憲三のがん学をドッキングさせたもので、「がん哲学＝生物学の法則＋人間学の法則」である。

電子計算機時代だ。宇宙時代だといっている。人間の身体でできると、その心身の動きとは、昔や今も変わってはいないのだから、近代代で合理的といわれる人である。病院になって自分の死を考えたときに病気になる。たとえ人間にかえら。その病態に訴え、医師を見つめる自分とは、近代代でも合理的でなくなる。静かだ。そして、寂しげな。昔ながらの一般の人間にかえらるのである。その病の最期に、静けになる病態が働いていくことになるのである。

吉田憲三

吉田憲三のがん学と、南原繁の政治哲学
がん哲学 ← 生物学の法則＋人間学の法則
2006年：がん哲学外来 開設


新渡戸稲造

⇄


吉田憲三


吉田憲三


柳野興夫


新渡戸稲造


内村鑑三


北原繁


矢野龍渓

「偉大なるお節介症候群」

偉大なるお節介症候群
認定証

小 錦 殿

貴殿は以下の診断基準を満たしたため、ここに認定いたします。

一、暇げな風貌
二、偉大なるお節介
三、運動性と英断

平成 25 年 5 月 13 日
榊野KANZO倶楽部
新渡戸稲造学校

項目（10ヶ条）

- 1) 「役割意識&使命感」
- 2) 「練られた品性&練々たる余裕」
- 3) 「賢明な寛容さ」
- 4) 「実例と実行」
- 5) 世の流行り廃りに一喜一憂せず、あくせくしない態度
- 6) 軽やかに、そしてものを楽しむ。自らの強みを基盤とする。
- 7) 新しいことにも、自分の知らないことにも謙虚で、常に前に向かって努力する。
- 8) 行いの美しい人 (a person who does handsome)
- 9) 「冗談を実現する胆力」～ sense of humor の勧め～
- 10) 「ニューモアに溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観のある人物」

一問おくれの先頭の賢務

偉大なるお節介症候群 認定証

2階多目的

神谷美恵子記念 がん哲学外来第6部カフェ in 長島愛生園 記念講演
対話カフェ in 長島愛生園

がん哲学外来～日本国の処方箋～

講師
順天堂大学医学部
病理・腫瘍学講座
榊野興夫 教授

主催 国立療養所長島愛生園

日時 平成 25 年 3 月 26 日 (火) 13:30～14:30

場所 国立療養所長島愛生園 愛生会館

入場料 無料

お問い合わせ先 長島愛生園福祉課
HP: 長島愛生園ホームページ
mail: shomu2@aiseien.go.jp
tel: 0869-25-0321 fax: 0869-25-2111

「生きている」ことの意味。お茶を飲みながら共に語りませんか？

第7回ご案内	平成25年4月30日	(火)	13:30～15:10
第8回ご案内	平成25年5月28日	(火)	13:30～15:10
第9回ご案内	平成25年6月25日	(火)	13:30～15:10

場所 国立療養所長島愛生園日出国

お問い合わせの際は、必ずお申し込みください
お申込先 長島愛生園福祉課
HP: 長島愛生園ホームページ
mail: shomu2@aiseien.hosp.go.jp
tel: 0869-25-0321 fax: 0869-25-2116

神谷美恵子生誕100年の集い

長島愛生園の精神科医



長島愛生園の精神科医として、長年患者の心と命を救った神谷美恵子先生。その功績を後世に伝えるため、長島愛生園では今年、神谷先生生誕100年を記念して、様々なイベントを開催しています。

日野原さん心から尊敬 入園者や次男「優しい」家庭的

「日野原さん心から尊敬。入園者や次男「優しい」家庭的」。神谷先生は、長島愛生園に入園した患者さんや、その家族から、心から尊敬されている。また、長島愛生園の次男である神谷美恵子先生も、先生のことを「優しい」と評している。

長島愛生園では、神谷先生が生徒時代に書いた手紙や、先生が書いた文章などを展示しています。また、先生が生徒時代に書いた文章や、先生が生徒時代に書いた文章などを展示しています。

長島愛生園では、神谷先生が生徒時代に書いた手紙や、先生が書いた文章などを展示しています。また、先生が生徒時代に書いた文章や、先生が生徒時代に書いた文章などを展示しています。

神谷美恵子

「生きたいは
「最難か」に生まれる

長島愛生園の精神科医として、長年患者の心と命を救った神谷美恵子先生。その功績を後世に伝えるため、長島愛生園では今年、神谷先生生誕100年を記念して、様々なイベントを開催しています。

長島愛生園では、神谷先生が生徒時代に書いた手紙や、先生が書いた文章などを展示しています。また、先生が生徒時代に書いた文章や、先生が生徒時代に書いた文章などを展示しています。

長島愛生園では、神谷先生が生徒時代に書いた手紙や、先生が書いた文章などを展示しています。また、先生が生徒時代に書いた文章や、先生が生徒時代に書いた文章などを展示しています。

神谷美恵子生誕100年／神谷美恵子記念がん哲学外来フェス足2周年

毎日新聞201401

読書感想文 コンクール

長島愛生園で精神科医療を担当された神谷先生、病気に加え強制隔離、ハンセン病への偏見・差別のため、多くの入所者が苦悩の日々を送っていました。そうした人々に寄り添う中から多くの著作が生まれました。

応募締切
平成27年1月5日(月)

神谷美恵子賞 1篇 賞状 副賞10万円
長島愛生園長賞 1篇 賞状 副賞3万円
入所者自治会長賞 1篇 賞状 副賞3万円
神野興夫賞 1篇 賞状 副賞3万円
みずすけ房賞 1篇 賞状 副賞3万円

詳しくは長島愛生園のホームページをご覧ください
<http://aiseien.go.jp>

たくさんの方々に神谷美恵子先生の著作に触れていただき、豊かな人間性をはぐくみ、よりよく生きるための機会としていただきたいと思います。

主催：国立療養所長島愛生園、公益財団法人長島愛生園歴史文化館、長島愛生園入所者自治会
後援：みずすけ書房

愛カフェ

第30回 平成27年3月15日(日) 14:00～15:30
(樋野興夫先生がご来賓されます)

場所 国立療養所長島愛生園 日出席館2F
瀬戸内市久町虫明6539

世界を愛する会(100年)/長島愛生園が「がん哲学外来」を創設2周年、長島愛生園とワールドの創設式が11/15(日)行われます。

愛カフェとは
入会者の方々と、地域の方々、また小さい子供様など、あらゆる世代や立場の人々が、お茶を飲
ながら交流する場所です。「対話」の中から、互いに人間としての学びを深めます。
樋野興夫先生の講演をきっかけにスタートしたのが「愛カフェ」で、多くの人に親しまれるように、この催
「愛カフェ」という名称に決まりました。愛カフェをよりよく広げたいです。

「生きる」とは？対話の中から、互いに学びましょう！

樋野興夫先生・岡山大学医学部病理・腫瘍学講座
がん哲学外来を提唱。2008年1月23日神戸市で国立
長生会との提携の発表を兼ねる希望と、がんの患者と医療に学ぶがん愛生園を思いだそうと
する人との対話の場所である。対話の場を育む活動を行い、がん患者が笑顔を取り戻し、がんを怖
れながらも人生を生きることが出来る社会の達成を目指している。

**原稿の郵上会、お役の方の
事前にお申し込み下さい**
(申込書様式面にありませ)

お申込先
・長島愛生園カフェ係
Tel:0869-25-0321 Fax:0869-25-2116
・長島愛生園ホームページ
mail:shom2@aiseien.nhs.go.jp

第5回 桃太郎記念 がん哲学外来 まちなかメディカルカフェ in 丸の内

「がん哲学外来～桃太郎の現代的意義～」



講師：樋野 興夫先生

樋野 興夫先生プロフィール
岡山大学医学部病理・腫瘍学講座教授
一般社団法人「がん哲学外来」理事長

がん哲学外来の意義
がんを克服するのではなく、
生きていくことに意味を見出せるよう努力する。

がん哲学外来まちなかメディカルカフェでどんなことを？
ほかの方のお話を聞いて、自分の悩みを解消するヒントが見つかったり、
気持ちになれることがある。自分自身の体験を話すことで、気持ちの整理ができることがあります。
す。カフェに参加された皆様と日頃の思いを語り合いませんか？

プログラム
9:00 受付開始
9:30～10:30 樋野興夫先生の講演
10:30～11:30 **がん哲学外来：メディカルカフェ**
樋野先生との面談(がん哲学外来)を希望される方を2組お
受けいたします。ご了解いただける方の「公開がん哲学外
来」をさせていただきます。

11:45～ (ご希望15名)
長島愛生園の「愛カフェ」にマイク/リスでのご案内致します
(リス内で希望のお弁当を頂きました 弁当は実費になります)
参加希望の方は事前予約の時に「愛カフェ」参加希望と
お申し出ください

日時: 2015年3月15日 9:30～11:30
会場: 岡山丸の内ヒルズ 8階
岡山市北区丸の内二丁目1番10号 (無料駐車場有)
対象: がん患者と家族・がん哲学外来に興味をお持ちの方
参加費: 無料(事前申し込み要)、電話で予約してください。 Tel. 086-235-0800

主催: 一般社団法人「がん哲学外来」 代表 元長島愛生園副園長 大和 豊子

1人の人間を癒す為には1つの村が要る

● 植野 興夫 ●

「がん哲学外来」御関係者の皆様へ

「がん哲学外来カサノバ」は先刻「がん哲学外来Medical Village in 万座」への感謝のため、皆様との協力のシンポジウムを開催させていただきます。医療、行政その他それぞれの力が集まる部門でメディカル・ビレッジ思想のご意見を伺い、多数の方のご参加をお待ちしております。

メディカルタウンの 青写真を語る

30年後の医療の姿を考える会 編

「がん哲学外来」
メディカル・ヴィレッジ
MEDICAL VILLAGE in 嵯峨村 万座温泉

平成27年 **5月24日**

公開シンポジウム

場所： 万座温泉 日通館 時間： 午後1：00～午後3：30 テーマ： メディカル・ビレッジ構想 組合会社： 黒岩麻利子 開会の辞： 大野克美	基調講演 司会：黒岩一博 ①：『タイガースとピッチへの期待』 嵯峨村新聞掲載者 ②：『がん哲学外来カフェ』 植野興夫 一般社団法人「がん哲学外来」理事長 順天大学医学部病理・腫瘍学講座 教授
--	--

個人面談
梅田先生による
個人面談 要予約制
当日電話にてお申し込み下さい

特別講演
山岡義生先生
総合財団法人
日本パナソニック連盟医師会
総合病院日本パナソニック病院 院長

バスルディスカッション
パネリスト：黒岩まゆみ・大野ふみ
平山聖美・植野興夫
行政御関係者

万座温泉日通館は明治40年創業で観光と温泉の歴史として年間12万人余のお客様がご利用です。日通館の所在地の幅員は約1.1km²、1人1坪程度に敷地を占有し、特に自然豊かな環境が保たれてくるとの認識があります。「外れカフェ」を「外れメディカル・ヴィレッジ」へ。訪問型から滞在型に、患者さんご本人のみならず、看護士や家族などあらゆる立場からの関わり。病状改善だけでなく人生の質を、病気でない生活の場を、先進する市民の健康づくりに学び、万座独自の手法を手探りの中でも提供。5月17日のシンポジウム開催にあたっての依頼からのご参加をお願いします。「医療の未来誌」「新時代医療誌」等、メディカル・ヴィレッジ構築実現に貢献させていただきます。

午後8時から日通館ロビーでも植野先生の講演がございます。

①： 司 会 愛上平樹のメッセージ
 ②： 基調発表 「がん哲学外来カサノバ in medical village」
 ③： 特別発表 「がん哲学外来カサノバ」の現状と将来
 ④： 質疑応答 会場内自由参加

 がん哲学外来 “とやま” ～ なすべきことをなす ～ 日時：2015年4月4日(土曜日) 13:30～16:00(13:00受付) 場所：富山県立中央病院 5階ホール (富山市西長江2-2・78)	 がん患者サロン開設 5周年記念事業 シンポジウム 「がんになっても安心して暮らせる奈良」に向けて 平成 27 年 3 月 8 日(日)13:00～16:25 (12:30 開場) 〒100 年会館 小ホール(JR奈良駅前) 参加費 無料 定員 80 人 要申込
講演1(13:30～14:30) 「医療の隙間を埋める ～ ヒューマンサポートの重要性～」 演者：金沢赤十字病院副院長 西村 元一 先生 プログラム 参加 無料 事前予約 不要	 富山県総合医療センター部長 上田裕一氏 受 付 12:30～ 開 会 13:00 快 歩 奈良県臨床政策部長 渡辺一郎 基調講演 「奈良県総合医療センターが目指すがん医療」 奈良県総合医療センター 会長 上田裕一氏 患者体験談 「治る、治すつかう」 秋永俊彦氏 ピアサポーター報告 「ピノ!等」であることの意味 奈良がんピアサポーターなどの会 副会長 関神寛
講演2(14:30～15:40) 座長：デパルチス やまだホスピタリティ学部長 山田 毅 先生 「がん哲学外来 ～ なすべきことをなす ～ (仮)」 講師：順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授 一般社団法人がん哲学外来 理事長 樋野 興夫 先生 講演3(15:40～16:30) 「がん哲学外来 “とやま” の紹介」 演者：厚生連清川病院 がん看護専門看護師 長 光代さん	パネルディスカッション 「「がんになっても安心して暮らせる奈良」に向けて」 市立奈良病院 主任看護師 がん化学療法看護認定看護師 奈良県の大木さと子氏が司会を務める。会場 奈良県立医科大学 奈良県がん診療連携推進センター 奈良県総合医療センター 奈良県臨床政策部長 渡辺 会長 奈良がんピアサポーターなどの会 副会長 関神寛氏 閉 会 「がん哲学外来」奈良～福徳太子の願いを込めて～ 順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授 一般社団法人がん哲学外来 理事長 樋野興夫氏 開 会 16:25
「がん哲学外来」とは、がん患者が、がんと共に生きていく上で病気を治すことだけではなく、人との繋がりを感じ、尊敬を持って生きることに意味を見出そうとする患者と、がんの発生と成長に科学的な興味を見出す人ととの対話の場である。がん哲学外来では、人が持つ力と可能性の中心で、がんという病気の闘いを支援し、彼らが少しでも笑顔を取り戻しつつ、がんであっても今の自分の人生を生きていけるよう支える場のことである。 お問い合わせ先： 一般社団法人がん哲学外来／とやまがん哲学外来事務局 主催：一般社団法人がん哲学外来／とやまがん哲学外来事務局 お問い合わせ先：デパルチス やまだホスピタリティ学 076-493-8002	お申し込みは裏面へ書くだけ! お問い合わせ先： 奈良がんピアサポーターなどの会 〒930-1501 奈良県大和郡山形町大鳥居 512-20 E-mail: nsl_nara@nara-net.jp TEL 090-8983-11295 FAX 0743-53-5828 後援まで 主催 奈良県 奈良がんピアサポーターなどの会



第6回佐久がん哲学外来研修会と交流会

～屋根のないホスピスの町！フェスタⅡ～

開催日時 **2015年 5月23日(土) 10:15～16:15**

開催場所 **がん哲学外来研修センター** (ケアハウス佐久) 長野県佐久市前山321-3 TEL.0267-63-5369

午前 [10:15～12:00]

山の里の小さな音楽会Ⅱ～ヒーリングコンサート～

～主なプログラム～ どんりりコーダー・童謡のフラダンス・ヒーリングジャズ・バイオリンの調べと祈り その他

[12:00～13:00]

バザー＆お昼の交流会

★お昼はバザーで手づくりのお弁当・パンなどをお手軽価格で販売いたします。

午後 [13:00～16:15]

講演会とミニカフェ 司会／ 軽井沢あうんの家カフェ・佐久総合病院地域ケア科 萩原 菜緒

テーマ **屋根のないホスピスの町～わたしができることと地域のつながり～**

開会によって 東海大学医学部血液・腫瘍内科教授 安藤 潔

講演 13:10～ **① 家庭哲学～温かい手・温かい心・温かい笑顔**
順天堂大学医学部教授 一般社団法人がん哲学外来理事長 樋野 典夫

14:00～ **② いのちに寄り添う**
淀川キリスト教病院理事長 ホスピス財団理事長 柏木 哲夫

ミニカフェ 15:20～
フアンシリナーター・お世話係 がん哲学外来市民会認定コーディネーター他カフェサポーター

開会によって 佐久総合病院診療部長 **北澤 彰浩**

主催／NPO法人健康工房SAKU/佐久がん哲学外来ひととこカフェ 後援／一般社団法人がん哲学外来
共催／渡間総合病院「渡間対話カフェ」、佐久総合病院「がんサロンもさん」、軽井沢あうんの家カフェ

第6回佐久がん哲学外来研修会と交流会申込書 FAX:0267-63-5389

氏名 _____ 住所 _____

電話番号 _____ バザーにも出品希望 する ____ しない ____ (いづれかに○を記入してください)

会費 **500円**

第1回

いわき市がん哲学外来カフェ

日時: 平成27年4月11日(土) 14時～17時

場所: 社団医療法人養生会 かしま病院
コミュニティホール
いわき市島崎町下蔵持字中沢2-1 TEL.0246-58-8010 (代)

がん哲学外来カフェ

「がんであっても笑顔を取り戻し、人生を生きることが出来るように支援したい」と願う、順天堂大の樋野典夫先生によって発足された『がん哲学外来カフェ』。がん患者さんとそのご家族と医療者がとが、リラックスして対話できる空間です。飲み物を用意してお待ちしています。

対象: がんと共に歩んでおられる患者さん、ご家族、ご遺族、近隣の皆様、ご興味のある方などなたでも。

参加: 事前の申込みが必要です。医師との面談は3組まで。

●申込み・問合せ先

社団医療法人養生会 かしま病院地域医療課
TEL 0246-76-0350 FAX 0246-76-0352
E-mail kizawa@kashima.jp

参加費無料



主催 いわき市医師会
後援 一般社団法人がん哲学外来
協賛 社団医療法人養生会 かしま病院

今後は、地域がん連携推進拠点病院（鶴城病院、福島労災病院）を中心に、病院持ち回りで開催予定です。

がん哲学外来カフェ が盛況な理由

「心の中を語る」
「心の中を語る」

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

患者の心の痛みを耳を傾けて

広がる「がん哲学外来」

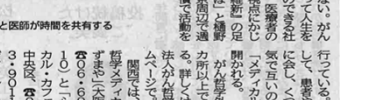
「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

誰もが尊厳持ち生きる

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。



患者と医師が時間を共有する

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

患者も医師も対等に対話

結論なくとも表情和み

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

がんカフェ広がる共感

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

がん哲学外来

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

がん哲学外来

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。

「がん哲学外来」は、がん患者と医師が対等に話し合う場。ここでは、がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。がん患者の心の中を語る。



がん哲学カフェ in UK & 緩和ケアの祖を訪ねる旅

2014年3月23日(日)〜28日(金)

「がん哲学外来」海外を越えて

がん患者のさまざまな悩みに応える車の根の相談の場として各地に広がっている「がん哲学外来」が、26日にロンドンで開かれる。海外での開催は初め

診察なし 悩み相談の場

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて



がん哲学外来から広がる言葉の処方箋

いい覚悟で生きる

がんになっても、人生は続く。がんになつてから、輝く人生だってある。2008年に「がん哲学外来」を設立後、延べ約3000人のがん患者とその家族との個人面談を行ってきた著者が、どんな境遇にあっても「人はいかにして生きるか」という人生の基軸を言葉にして贈る「言葉の処方箋」集。今後の治療に、あるいは自分の人生に深く考えするための生きるヒントが満載。

小学館から10月31日まで発売

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

「がん哲学外来」海外を越えて

海外を越えて

海外を越えて

NEWS LETTER

No.81

2014 Sep

日本がん予防学会 Japanese Association for Cancer Prevention(JACP)

私のがん予防～「偉大なるお節介症候群」の主症状～
My Cancer Prevention~Main Symptom of A Loving Busybody Syndrome~



榎野 興夫
Osamu Hoshino (hoshino@jantennet.ac.jp)

夫は、自分では「幸運のない状況」であると思っただとしても、「人生の方からは期待されている存在」であると実感する深い学びの時が与えられている。その時、「その人らしいものが発動」してくるであろう。「幸運」は、「明日が世界の終わりでも、私は今日りんごの木を植える」行為を起こすものである。「自分の命より大切なものがある」は、「放射線治療と副作用」の行方へと導く。「愛を求めた不器の女性」が「人生の扉の鍵」の如く開く。「ビジョン」は人知・思いを促して進展することを可能にする日本である。「がん」であっても、毎日で「はい」の社会機能が、「偉大なるお節介症候群」の使命であり、次世代の「がん予防」の礎であろう。

「真に勇敢なる者は前に死を覚悟する。—— 言はこれを「余命」と呼ぶ。それは何れも、後継せず、さらに多くをいれる余命ある心である」（新進戸

「がん予防」の基本精神～「愛憎のない純粋な自由」～
「やるだけのこと」をやって、後のことは心の中でそっと心配しておればよいではないか。どうせなるようにしか

後継者の皆さんにメッセージを届ける

、とても大切な職業です。医者や患者の橋を架けることは、患者が安心して治療を受けることができることを目指して取り組むべきです。患者と医療者のすき間を埋める役割を担う。患者と医療者のすき間を埋める役割を担う。患者と医療者のすき間を埋める役割を担う。

「偉大なるお節介症候群」の診断基準
(1) 期待値が低い
(2) 偉大なるお節介症候群
(3) 過剰性と先制

「偉大なるお節介症候群」認定書の審査項目
(1) 「認定基準と使命感」を持つ
(2) 「偉大なるお節介症候群」を持つ
(3) 「偉大なるお節介症候群」を持つ
(4) 「偉大なるお節介症候群」を持つ
(5) 「偉大なるお節介症候群」を持つ
(6) 「偉大なるお節介症候群」を持つ
(7) 「偉大なるお節介症候群」を持つ
(8) 「偉大なるお節介症候群」を持つ
(9) 「偉大なるお節介症候群」を持つ
(10) 「偉大なるお節介症候群」を持つ

19年7月(2014 Nov/Dec) がん情報局

第6回 勝海舟記念
下町(浅草)
がん哲学
外来
シンポジウム

「がん」は「死」でも「がん」は「死」でもない。生きることを素直に考える浅草からのメッセージ

医療維新の発祥:
21世紀の勝海舟 出でよ!
——いい覚悟で生きる——

『最も剛毅なる者は最も柔和なる者であり、
愛ある者は勇敢なるものである』
人生のversion upの邂逅

参加費 無料

平成27年12/19(土) 15:00~17:00

場所 浅草三業会館

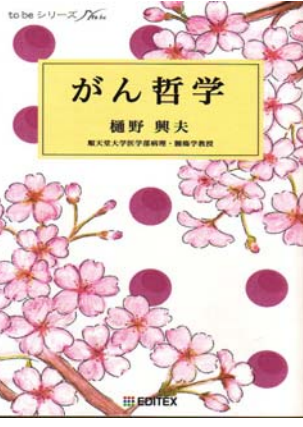
対象 「がん」とともに生きている方・家族の皆様、医療従事者、行政担当者、その他がん哲学外来に興味のある方

主催：勝海舟記念下町・浅草がん哲学外来 共催：浅草かんわネット研究会 NPO法人HAP (Healthy Aging Projects For Women) NPO法人マイウェイ協会

「がん哲学」の可能性～「生きる」を考える～
患者学校(榎野興夫の「がん哲学学校」)

ラジオNIKKEI 9:00~9:30pmスタート 毎月第1日曜日
朗読:アナウンサー

がん哲学外来～それは言葉の処方箋～
10月5日日本テレビ
再放送10月12日 11:00~BS日テレ
10月12日 18:30~ CS「日テレ NEWS24」



がん哲学
榎野 興夫
榎野 興夫
榎野 興夫



がん哲学外来
それは言葉の処方箋

6月10日(火)
日本テレビ news every
18時15分頃
(放送は約20分)



特報首都圏「“がん”を語り合う がん哲学外来」

2015年2月6日(金)
NHK19:30~19:55

日本病理学会総会 市民公開シンポ（2015年5月2日）
仁科亜希子氏：元氣な明日のために～がんに負けない～

特報TBSラジオ(2015年1月24日)

がんは生活を見直す
きっかけを与えてくれた!



がん哲学外来研修センター ニュースレター No.48 発行：NPO健康工房 SAKU(2015.2.11)

「さっぽろがん哲学外来」の近況
留萌郡小平町 中里 準治

2年前の2013年8月にスタートした「さっぽろがん留学外来」は今年で3年目に入ります。2ヶ月に1回、札幌の中心部にあるサロンで例会を開いていて、出席者は16名~20名の間です。会の進め方としては当方でお願した講師陣による講演を主体に行い、終了後に参加者による懇談・相談をするという形です。

講演テーマがこれに限らず、武野の心と体の関係や武野の礼法といった形から考えた「ジェンダーと身体性」生物学的な女性性から考える「ジェンダー」が両面で「生物」といったテーマに富むお話をさせていただいて、勉強、リフレッシュし、自由に意見を交わしあうという素晴らしい機会を自分自身に与えています。今年、2015年のはじめは2月21日予定の例年では今年の決め方によって皆で意見交換をして今年の方向性を決めていこうと思っています。

今年19日には樋野先生の講演会（武大出逢い115周年記念・新渡戸稲子先生が「留學」を市内のホテルで行った）。この催しは会場である「札幌から留學カフェ」(スウェーデン札幌サロシオン)との共催でなく、まだまだ活動性が高い札幌での札幌に関するさまざまな活動の共助協力の輪が広がっていくきっかけになればと思っています。

NK報道首都圏 2015. 2. 6(金) 19:30~
～患者を支える対話の力～



川崎市立井田病院 西 智弘 医師 樋野先生「対話で心が開きます」



細田邦男氏「人生は“物語”で成る」 カフェの店が似、全国マツコ

柏木哲夫著「人生の實力」を読み合う！
小諸市 布山 政文

2月7日(土)の午後2時、佐久平と浅間山を一緒に登るのに学外生実験センターでの呼びかけで、和やかな雰囲気の中「生死」を考える契機となった。話題提供者の小松さんが見点を前向きにまわし、「『第一 悲しみが必要』を成長させる」を輪読後、感想を述べた。生きながられた想い、皆さんの話から、また、身を引き離す思いでした。また、勇気の意味は？のテーマも興味深いものでした。もう一方が十分に泣いておき、あまり前向きな発言もなく、この本のコピーを用意せよ、悲しみに出会うこと、悲しい泣いて泣いた方たちが重なり合うと思えたらいい。しかし、その方は、ある状況で涙をぐんぐんと深く息を吐きだす。今もその悲しさを覚えて座り続けることに。

貴重な時間と出会いに感謝です。大勢の女性の中に男性は二人…。温かく茶菓でもてなして下さりありがとうございました。

なお、次回のカフェ（3月7日）は引き続いて読書会の予定だそうです。柏木先生と樋野先生との対談集「使命を生きるということ」を読みあつて学びたいとお知らせがスタッフからありました。

5月23日(土)には「第6回がん哲学外来研修
と交流会」が企画され、柏木智夫先生を講師にお
呼びして「屋根のないホスピスの町フェスタⅡ」を
テーマに開催されるとか。当日は榎野先生のお話も
聞けるというビッグなイベント、今から楽しみにし
ております。



「**佐久ひとときカフェ**」恒例のジャズダンス(指導は
屋芳美さん)。座ったまま出来るのも好評です。

◇ 日時：5月30日(土)～31日(日)

◇ 会場: クロス・ウエーブ 梅田 (大阪市)
がん哲学外来研修センター
 F385-0046 佐久市前山 321-3 クアハウス内)
 Tel : 0267-63-5369
 mail : kenkokobo@hb.tp1.jp

Cancer Philosophy
がん哲学
との出会い

● 樋野 興夫 ●

悲しみ過ぎも、から元氣もいけない。
ありのままに生きるための「処方箋」



「人の心の時間を費やすこと」
「1人の患者さんへのべの時間」
「応えるに大切なこと」先生が語ります

がん患者さんやご家族、医療関係者が集い、心を通いあわせる場

合会「メヂカル・ボウ」は、全国に広がっている。1号はボクサーの活動でまず、ヤギではレジャーへと展開させたいと種野先生。こゝに種野先生が用いている動物は、

無理に
むやみに
患者さん
ブに分か
年々上が
はり命に
現実が重
自然体で
嫌しいの
そこで
イブの違
いをく紹
明
映がんを
ていると
んとの「
るからで
るに落ち

[illegible]

ズと、
 かん
 たい
 たい
 率は
 ば、や
 いう
 のは
 ため、
 不
 くら
 せん
 は確
 かな
 焦る
 共
 言
 病
 問
 ん
 解

「……実際に、
みえを撮る
にしているこ
うな態度
を見たのは
初めてです
よ」とい
う子が立ち
上がった。こ
の間を音楽
し、一膳
それでも
見捨てる
なく様々
してはし
てました
場合は、
解決」す
とも、気持
こはできな

お会いして、そ
ういふことが
若者さんに私
「がんと」
うに寄り添
ていて下さ
ぬるまでに
するかは予
断ではいか
かわいいわ
とはでき
かな気持ち
いという気
き附しない
ことはあ
の持ち方
なくとも、「

みるど、れを解分かりがアドは、不つつてみ、どの、國がつないのが子でません。で、口守を持ちを限り、りませによつ「解消」

[illegible]



「まちなかメディカルカフェ in 宇都宮」開設記念
市民公開講座 2013.4.21



「哲学する犬」 樋野先生のスライドより



可愛いチャウチャウ犬
(がん哲学外来)
VS
威厳のある怖い犬
(がん相談??)





がん哲学外来の聴診器は「対話」



寄り添う VS 支える

使命を
生きている
ということ

がんのあふれる悩みと不安と、
がん哲学外来からのメッセージ

柏木哲夫 十 樋野興夫



MISSION (使命)
としての人生を
感じるとき

日常での新しい出会い、
気づき、心と身体の間で感じる
生まれてこの
いのちの風の中にいる。

角田 光生

